

広島県「みんなで減災」一斉防災教室の実施について

令和2年4月17日

みんなで減災推進課

1 ねらい

「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の取組の一環として、梅雨入り前に、一斉防災教室を実施し、学校の児童・生徒、企業の従業員、自主防災組織等、県民がそれぞれの場所において、県下一斉に、県が作成する教材などを活用して災害危険箇所や避難場所などを確認する「知る」取組を促進する。

2 実施期間

令和2年5月11日（月）～6月6日（土）（27日間）

3 参加目標

学校の児童・生徒、企業の従業員、自主防災組織など 約65万人

4 県民に知っていただきたい事柄

- 身の周りの災害危険箇所や避難場所等
- 災害発生の危険性を知らせる情報や情報入手の方法等
- 災害発生時の状況に応じた適切な行動の種類

5 実施方法

- 県下すべての小・中・高等学校において、ホームルーム等の場で実施
- 県内企業、団体において、その従業員を対象に、各職場において実施するとともに、各家庭での確認などを推奨
- 市町や自主防災組織が主催する防災教室等において実施

〔 なお、実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症への対策として、3密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避ける配慮をしていただくよう周知する。 〕

【参考】過去の参加実績

平成29年度	実施期間：5月15日～6月6日（23日間）	参加者数：約58万8千人
平成30年度	実施期間：5月14日～6月6日（24日間）	参加者数：約61万人
令和元年度	実施期間：5月13日～6月6日（25日間）	参加者数：約63万人